

みなさまへ

西郷村の望ましい教育環境のあり方に関するアンケート調査へのご協力のお願い

全国的に少子高齢化が進む中で、西郷村でも児童生徒数の減少が緩やかに進んでいます。また、学校施設の老朽化が進み、改修が必要となってきました。加えて、情報化、国際化に伴い学校において様々な取り組みが必要とされていることや、多様な教育ニーズに対応した教育環境作りが求められています。

このようなことから西郷村教育委員会では、村民の皆さまからのご意見をいただきながら、将来に渡り子どもたちへより良い教育環境を提供していくための方針を示して参りたいと考えています。

大変お忙しいところ恐れ入りますが、本アンケートへのご協力をお願いいたします。

令和7年7月 西郷村教育委員会

【回答方法(①、②いずれかお答えしやすい方法を選択してください)】

①インターネットで回答する場合

右のQRコードをスマートフォン等で読み込み、web上からアンケートに回答してください。(Googleフォームが開きます)

回答用
QRコード

②郵送で回答する場合

別添のアンケート回答票にご記入いただき、返送用封筒に入れて郵便ポストへ投函してください。

アンケートは、令和7年8月8日(金)までにご回答いただきますようお願いいたします。

【実施方法・個人情報の取扱い】

○本アンケートは、西郷村教育委員会が実施するものです。回答は任意です。

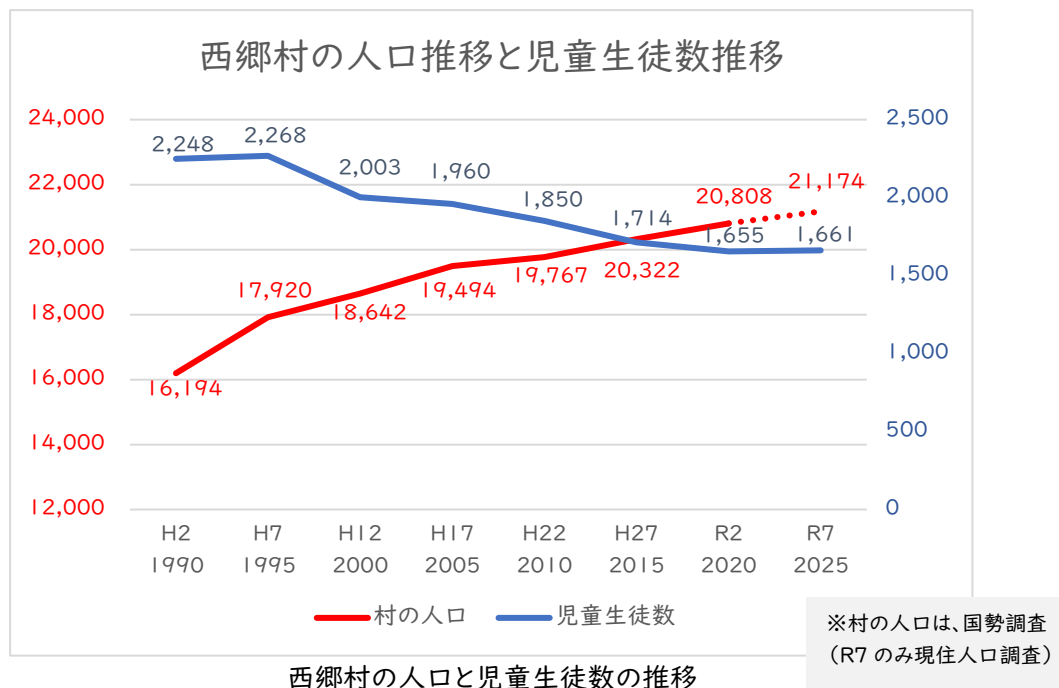
○令和7年7月1日現在、西郷村に住所があり、中学3年生までのお子様がいいらっしゃる保護者の方、または村に在住の18歳～79歳までの方から2,000名を無作為に抽出し、アンケート調査をお渡しさせていただきました。お子様を通して複数枚配付された場合は、1度回答いただければ幸いです。

○回答内容は、統計データの作成のみに使用し、個人が特定されることはありません。集計結果は、村のホームページ等でお知らせいたします。

アンケートに関するお問合せ先
西郷村教育委員会 学校教育課
電話 0248-25-2370
FAX 0248-25-7382
E-mail gakkou@vill.nishigo.lg.jp

西郷村の人口推移と児童生徒数について

西郷村の総人口は、国勢調査によると 1975 年以降、増加する傾向が続いています。しかし、小中学生の数は、1995 年をピークに緩やかな減少傾向に転じています。今後もこの傾向が全ての小中学校で続くと見込まれています。また、校舎や体育館の老朽化といった施設面の課題もあり、将来のために継続的に検討していかなければならない重要な課題と捉えています。



学校規模に関する国等の資料

1. 適正な学校規模

国が示す標準的な学校規模は、小学校では1学年あたり2～3クラス、中学校では1学年あたり4～6クラスとしています。ただし、「特別の事情があるときはこの限りでない」とされ、弾力的な運用が認められています。（文部科学省令「学校教育法施行規則第41条、第79条」より）

【適正な規模の学校が望ましい理由】

義務教育段階の学校は、児童生徒の能力を伸ばしつつ、社会的自立の基礎、国家・社会の形成者としての基本的資質を養うことを目的としています。このため、学校では、単に教科書の知識や技能を習得させるだけでなく、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身につけさせることが重要になります。そうした教育を十全に行うためには、一定の規模の児童生徒集団が確保されていることや、経験年数、専門性、男女比等についてバランスのとれた教職員集団が配置されていることが望ましいものと考えられます。このようなことから、一定の学校規模を確保することが重要となります。

（文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」より一部抜粋）

2. 複式学級制度について

複式学級とは、2つ以上の学年で構成される学級（例、1、2年生で一つの学級）であり、学年あたり人数が一定の基準を下回ると編成されます。複式学級では、2つの学年の授業を同時に行うため、子どもたちが十分な指導を受けられないことや、教職員の授業準備の負担が大きい等双方にデメリットがあります。

複式学級の編成基準

編成	小学校	中学校
複式学級	1年生を含む場合 ～8人	～8人
	その他の場合 ～16人	
飛び複式※1	1年生を含む場合 いずれの学年も 4人以下	いずれの学年も 4人以下
	その他の場合 いずれの学年も 8人以下	

※1 飛び複式(例、1年生と3年生で1つの学級のような、連続していない学年で組まれる複式学級のこと)

3. 教職員の配置基準について

教職員の配置人数は、学級数を元に決められています。参考に今年度の中学校の教職員の配置基準は次のようになっています。

教職員配置基準(中学校)

学級数	校長	教頭	教員
3 (川谷中)	1	1	6
8 (西二中)	1	1	13
11 (西一中)	1	1	18

中学校では、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語、道徳、総合的な学習の授業をしています。小規模校では、全教科の専門教員が揃わず、他の教員が免許外指導を行う場合があります。

現在の学校に求められている機能

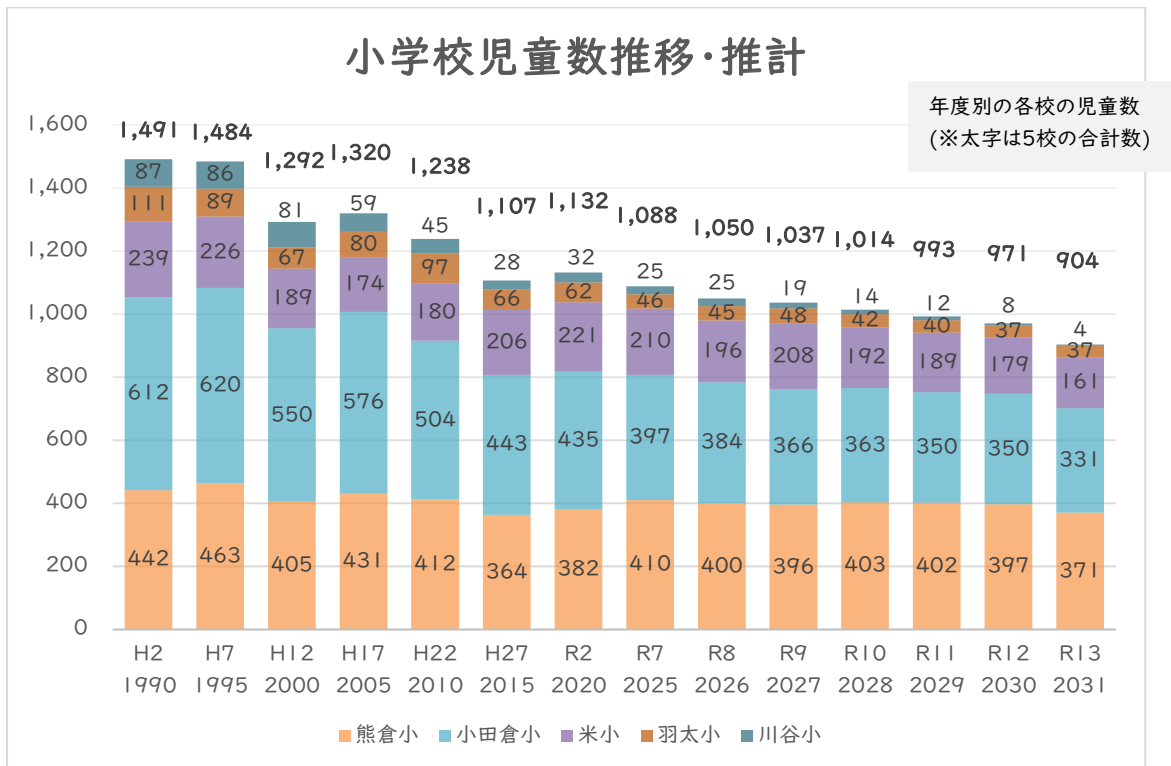
2019年に始まったGIGAスクール構想により、全ての小中学校で、教科書とノートに加えタブレット端末を授業で活用しています。既存の学習机で教科書、ノート、タブレット端末を活用するには手狭になり、机を大きくするにも教室の広さが足りないといった課題を抱えています。また、2020年の法改正で、どのような方でも支障なく安心して学校生活が送られるように、一定規模以上の学校を建築する際にはトイレ、スロープ、エレベーター、案内表示、廊下の幅といった設備のバリアフリー基準への適合の義務付けがされ、既存の建築物についてもバリアフリー基準への適合の努力義務が課せられました。また、学校は災害時の避難所として使われることもあり、近年の災害の頻発化と温暖化による熱中症対策のため、体育館の空調設備を整備する動きが進んでいます。

さらに近年増加している不登校児童生徒への学びの場の保証のため、校内に教育支援センターを設置している学校もあります。同センターでは、教室に入りづらい児童生徒が安心して学べる場、相談・支援の場を提供しています。このように、現在の教育ニーズは多様化しており、既存の校舎では全てのニーズに対応することが困難になっています。

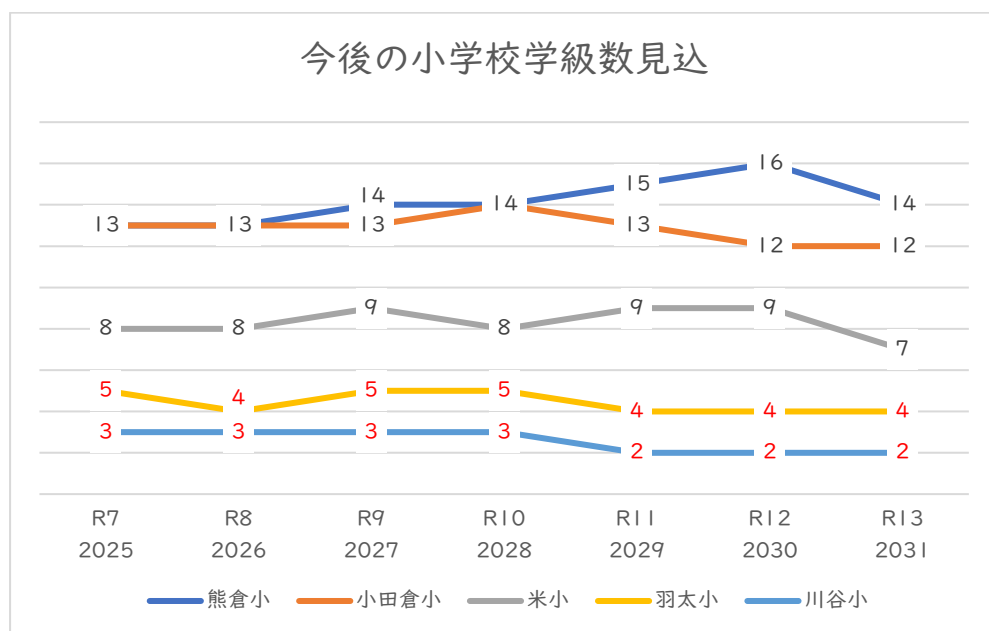
西郷村の小中学校の現状について

Ⅰ 小学校について

西郷村の小学生の人数は、平成 7 年（1995 年）頃までは 1,400 人を超えていましたが、令和 7 年（2025 年）は 1,088 人となっています。また、現在の未就学児の人数から推計すると、今後 5 年以内には 1,000 人を下回ることが予想されています。また、学級数に目を向けると、熊倉小学校と小田倉小学校は今後も国の適正規模（12 学級以上）となる見込みですが、他の 3 校においては過少規模の学校となる見込みです。



村立小学校の児童数推移・推計（1990～2031 年）



今後の小学校 1～6 年生の学級数見込（赤文字は複式学級）

建物に目を向けると、小田倉小学校の校舎と体育館、羽太小学校の体育館、川谷小学校の体育館が建築から約 50 年が経過しており、建替えや長寿命化改修の必要な時期を迎えています。

村立小学校の築年数（令和7年現在）

学校名	校舎建築年	校舎築年数	体育館建築年	体育館築年数
熊倉小学校	H4(1992)	33	H7(1995)	30
小田倉小学校	S55(1980)	45	S45(1970)	55
米小学校	H2(1990)	35	H3(1991)	34
羽太小学校	S60(1985)	40	S51(1976)	49
川谷小学校	S63(1988)	37	S45(1970)	55 (中学校と共用)

児童数の減少や建物の老朽化で、各校で次のような課題を抱えています

西郷村の小学校における課題

【学級数・児童数による課題】

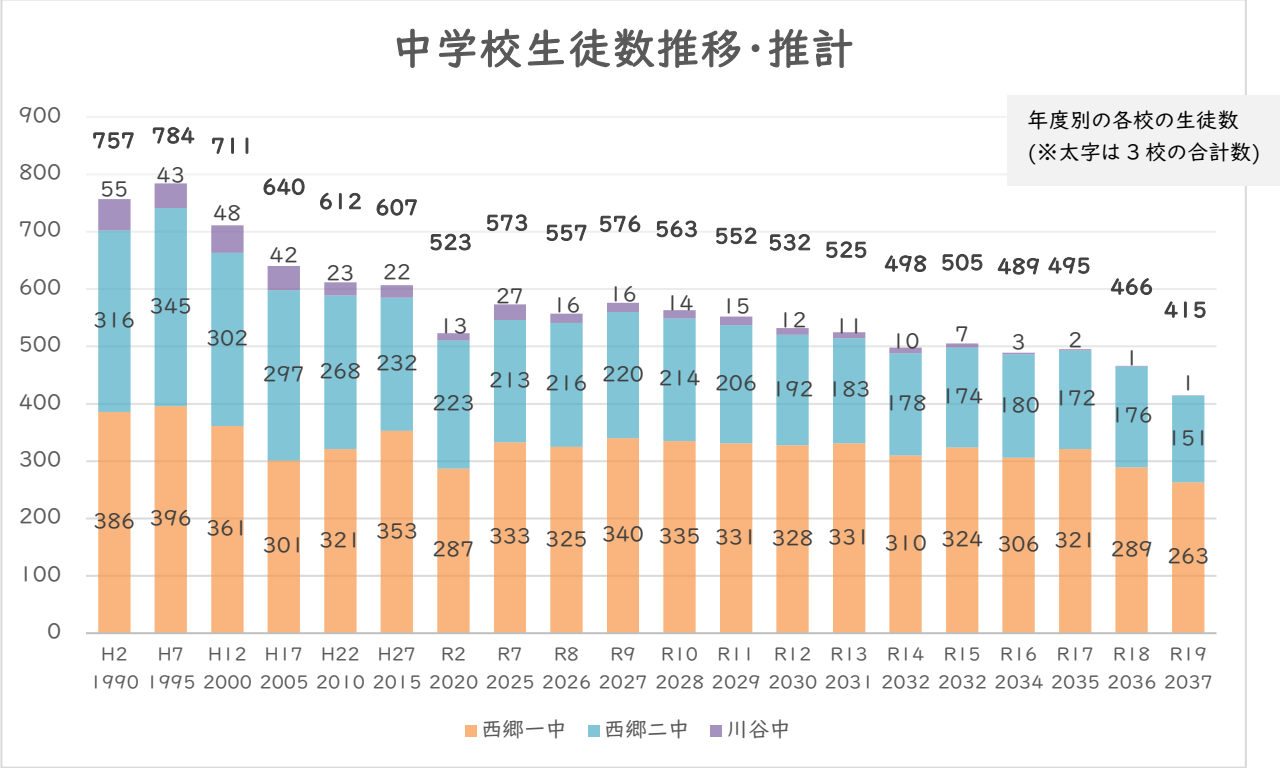
- 児童数の減により、複式学級となっている学校がある。児童、教職員双方にとって負担になっている。
- クラス替えができず、人間関係が固定化され、多様な意見や考えに触れる機会が少ない。

【建物・施設に関する課題】

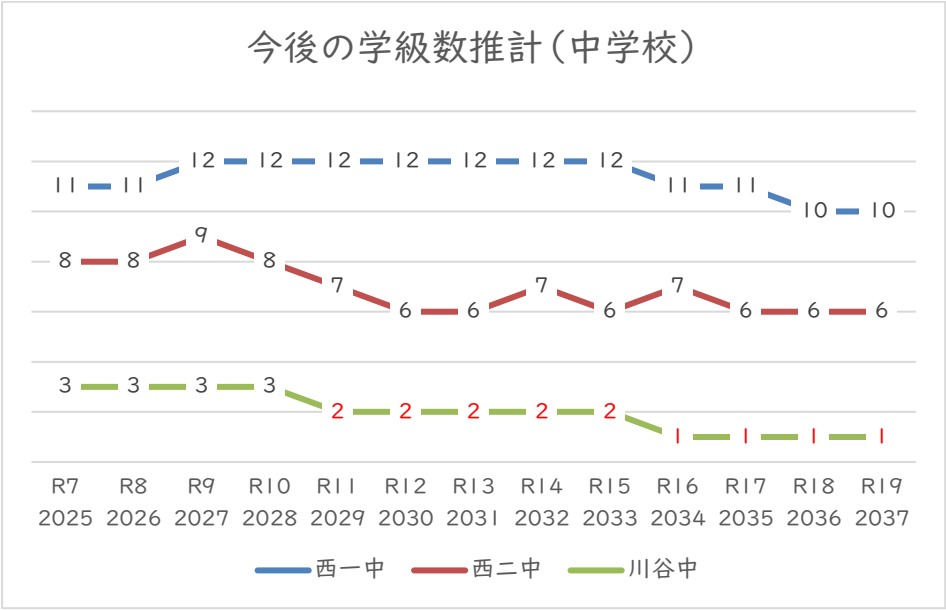
- 校舎・体育館が老朽化しており、改修や建替えが必要である。
- スロープ、エレベーターといったバリアフリー化への対応が必要である。
- 既存の校舎では、机が小さく、教室も狭く、教室数が少ない。GIGA スクール（情報化）への対応や教育支援センターの設置が困難になっている。

2 中学校について

西郷村の中学生の人数は、平成 12 年(2000 年)頃までは 700 人を超えていましたが、令和 7 年(2025 年)は 573 人となっています。また、現在の小学生、未就学児の人数から推計すると、今後 10 年以内には 500 人を下回ることが予想されます。また、学級数に目を向けると、西郷一中では、国の適正規模(12 学級以上)となる時期もありますが、将来全ての中学校が過少規模になる見込みです。



村立中学校の生徒数推移・推計(1990 年~2037 年)



今後の中学校 1~3 年生の学級数見込(赤文字は複式学級)

建物に目を向けると、西郷第一中学校の校舎、川谷中学校の体育館が建築から約 50 年が経過しており、建替えや長寿命化改修の必要な時期を迎えています。

村立中学校の築年数(令和 7 年現在)

学校名	校舎建築年	校舎築年数	体育館建築年	体育館築年数
西郷第一中学校	S51(1976)	49	H24(2012)	13
西郷第二中学校	H11(1999)	26	H14(2002)	23
川谷中学校	S63(1988)	37	S45(1970)	55 (小学校と共用)

次に、各中学校の部活動の加入状況を次の表に示します。

村立中学校の部活動加入状況(令和 7 年現在)※3年生含む

部活動名	西郷第一中学校	西郷第二中学校	川谷中学校
軟式野球部	18	4	-
女子バレーボール部	19	9	-
男子バスケットボール部	-	12	-
女子バスケットボール部	7	16	-
男子ソフトテニス部	22	21	-
女子ソフトテニス部	25	9	-
サッカー部	27	-	-
卓球部	50	31	-
柔道部	29	9	-
剣道部	-	14	6
陸上部	29	-	-
バドミントン部	-	-	14
美術部	17	10	-
吹奏楽部	-	20	-
器楽部	39	-	-
コンピュータ部	39	-	-
科学部	-	42	-

生徒数の減少や建物の老朽化で、各校で次のような課題を抱えています。

西郷村の中学校における課題

【学級数・生徒数による課題】

- 学級数が適正規模を下回り、全教科の教職員が揃わない学校がある。その際、免許外指導が行われる。
- 生徒数が減り、単独チームで大会に出場できない種目がある(西一中、西二中の軟式野球部は他の中学校と合同チームで出場)。また、部活動を指導する教員の数が揃わない場合がある。

【建物・施設に関する課題】

- 校舎・体育館が老朽化しており、改修や建替えが必要である。
- スロープ、エレベーターといったバリアフリー化への対応が必要である。
- 既存の校舎では、机が小さく、教室も狭く、教室数が少ない。GIGA スクール(情報化)への対応や教育支援センターの設置が困難になっている。

0. アンケートを回答される方に関する質問

質問1

お住まいの地域はどの小学校区ですか。(1つ選択)

- 1 熊倉小学校
- 2 小田倉小学校
- 3 米小学校
- 4 羽太小学校
- 5 川谷小学校
- 6 その他・村外等

質問2

回答される方のお子様の就学状況について、該当するものを教えてください。(複数回答可)

- 1 未就学児(0歳~6歳)
- 2 小学生の保護者
- 3 中学生の保護者
- 4 その他(高校生以上、成人済み、子どもはいないなど)

質問3

回答される方の年代を教えてください。(1つ選択)

- 1 ~20歳代
- 2 30歳代
- 3 40歳代
- 4 50歳代
- 5 60歳代
- 6 70歳代

1. 望ましい将来の姿、望ましい教育環境に関する質問

西郷村の子どもたちに、「将来どのような姿になって欲しいか」、「西郷村でどのような教育を受けて欲しいか」についてお答えください。

質問4

あなたが期待する西郷村の子どもたちの将来の姿はどのようなものですか。次の15項目から、あなたが特に望む将来の姿を、3つまで選択してください。

No.	子どもたちへ望む将来の姿	特にそう思う (3つまで選択)
1	社会規範を身につけ、物事の善悪が判断できる	
2	周囲の人と協力し合いながら物事を進めることができる	
3	礼儀正しく、相手を思いやることができる	

4	自分で考え、判断し、行動することができる	
5	自分のことに責任をもって行動することができる	
6	困難に負けず、粘り強く物事に取り組むことができる	
7	社会や周囲の人の役に立つことができる	
8	自分の知識・技術で、経済的に自立した生活ができる	
9	個性を発揮し、自分の夢を実現できる	
10	自分で新しい道を切り拓いていくことができる	
11	心身共に健康に生活できる	
12	リーダーシップを発揮し、集団をまとめ、引っ張っていくことができる	
13	異なる文化や言語をもつ人たちとコミュニケーションを図ることができる	
14	情報モラルを含み、コンピュータ等の情報手段を適切に活用することができる	
15	その他・自由記述（ ）	

質問 5

西郷村の小中学校において、特に力を入れて取り組んで欲しい教育は何ですか。次の(1)～(4)の 4 つの分類ごとに、あなたが特に望む事項を、それぞれ 2 つまで選択してください。

(1) 学力に関する取り組み

No.	力を入れて取り組む教育【学力】	特にそう思う (2 つまで選択)
1	基礎的な学力を確実に身につける授業等の実施	
2	習熟度別指導など、学習到達度に応じた授業等の実施	
3	個に応じたきめ細やかな指導の実施	
4	小学校高学年における教科担任制による専門性の高い授業の実施	
5	自ら学び自ら考える力を身につけられるよう児童生徒主体の活動を充実すること	
6	全ての児童生徒がより分かりやすく安心して受けられる授業等を実践すること	
7	その他・自由記述（ ）	

(2) 心力に関する取り組み

No.	力を入れて取り組む教育【心力】	特にそう思う (2 つまで選択)
1	将来に夢や希望がもてるようにキャリア教育、職業体験などの社会体験活動を充実すること	
2	「特別の授業 道徳」を要として、学校の教育活動全体を通じて、道徳教育の充実を図ること	
3	協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育成するために、学校行事の充実を図ること	
4	いじめの積極的な認知と情報共有などに努め、いじめのない集団づくりや人権教育を推進すること	
5	西郷村の歴史・文化を学び、ふるさとに愛着をもてるようにすること	
6	学級や学年の枠を超えて切磋琢磨することによって、人間関係の構築を図ること	
7	その他・自由記述（ ）	

(3) 体力に関する取り組み

No.	力を入れて取り組む教育【体力】	特にそう思う (2 つまで選択)
1	体育の授業の充実、部活動・クラブ活動を通じて、体力向上を図ること	
2	健康の保持増進のため、保健衛生教育（歯科、肥満対策など）を充実させること	
3	学校と家庭が連携するなどして、食育の充実を図ること	
4	子どもたちがやりたいと思う部活動を備え、選択できること	
5	子どもたちが参加できる、地域でのスポーツ・文化活動を充実させること	
6	その他・自由記述（ ）	

(4) その他特色ある取り組み

No.	力を入れて取り組む教育【特色ある教育・施設】	特にそう思う (2 つまで選択)
1	ミシンボランティア、読み聞かせ、農業体験など、地域と学校の連携・協働を図りながら地域の力を学校教育に活かすこと	
2	学校と公民館、図書館、スポーツ施設などと複合化した施設で、授業や部活動に加え、地域の方が活用できる「学びの拠点」としていくこと	
3	不登校の児童生徒の学びの場を確保し、学びたいと思ったときに学べる環境（教育支援センター）を整備すること	
4	義務教育 9 年間を見通した教育活動ができるよう、小中学校の垣根を超えた一貫教育を実施すること	
5	情報活用能力の育成を図り、情報化社会に対応できるよう、ICT 機器を活用した授業等を推進すること	
6	外国語によるコミュニケーション能力の育成や多様性の理解を図れるよう、外国語教育を充実すること	
7	その他・自由記述（ ）	

2. 小学校に関する質問

質問 6

4ページの「西郷村の小学校における課題」（複式学級化、子どもたちの人間関係が固定化されるなど）について、あなたは対策が必要だと考えますか。（1つ選択）

- 1 ぜひ対策が必要である
- 2 できれば対策が必要である
- 3 どちらとも言えない
- 4 対策は必要ない

質問 7

4ページの「西郷村の小学校における課題」（複式学級化、子どもたちの人間関係が固定化されるなど）の解決策として、小学校を統合することが考えられますが、あなたは、将来的に小学校を統合することについてどう考えますか。（1つ選択）

- 1 賛成である
- 2 おおむね賛成である
- 3 どちらとも言えない
- 4 反対である

次の質問は、質問 7 で「1」または「2」を選択した方にお聞きます。

質問 8

質問 7 で、「1 賛成である」または「2 おおむね賛成である」を選択した理由として、あなたの考えに近いものをお答えください。(2つまで選択)

- 1 学習環境の改善(教職員が増える、多様な指導形態や学校運営の改善が図られるなど)
- 2 学校行事の充実(集団活動などの教育効果が上がるなど)
- 3 人間関係の構築(クラス替えができる、多様な考えに触れることで社会性が育まれるなど)
- 4 学校施設・設備の整備・充実(教育予算の集中投資ができるようになるなど)
- 5 PTA 活動の環境改善(活動の充実が図れる、保護者1人あたりの負担が軽減されるなど)
- 6 少子化のためやむを得ない
- 7 その他・自由記述()

次の質問は、質問 7 で「4」を選択した方にお聞きます。

質問 9

質問 7 で、「4 反対である」を選択した理由をお聞かせください。(自由記述)

質問 10

その他小学校に関することについてあなたの考えをお聞かせください。(自由記述)

3. 中学校に関する質問

質問 11

6ページの「西郷村の中学校における課題」(教員が揃わない、部活動の人数が揃わないなど)について、あなたは対策が必要だと考えますか。(1つ選択)

- 1 ぜひ対策が必要である
- 2 できれば対策が必要である
- 3 どちらとも言えない
- 4 対策は必要ない

6ページの「西郷村の中学校における課題」（教員が揃わない、部活動の人数が揃わないなど）の解決策として、中学校を統合することが考えられますが、あなたは、将来的に中学校を統合することについてどう考えますか。（1つ選択）

- 【補足】今から 10 年後に村内の中学校を 1 校とした場合、500 人弱程度の学校となり、現在の白河中央中学校、白河第二中学校、矢吹中学校と同程度の規模となります。

- 1 学習環境の改善（教職員が増える、多様な指導形態や学校運営の改善が図られるなど）
- 2 部活動・学校行事の充実（部活動の種類が増える、集団活動などの教育効果が上がるなど）
- 3 人間関係の構築（クラス替えができる、多様な考えに触れることで社会性が育まれるなど）
- 4 学校施設・設備の整備・充実（教育予算の集中投資ができるようになるなど）
- 5 PTA 活動の環境改善（活動の充実が図れる、保護者1人あたりの負担が軽減されるなど）
- 6 少子化のためやむを得ない
- 7 その他・自由記述（

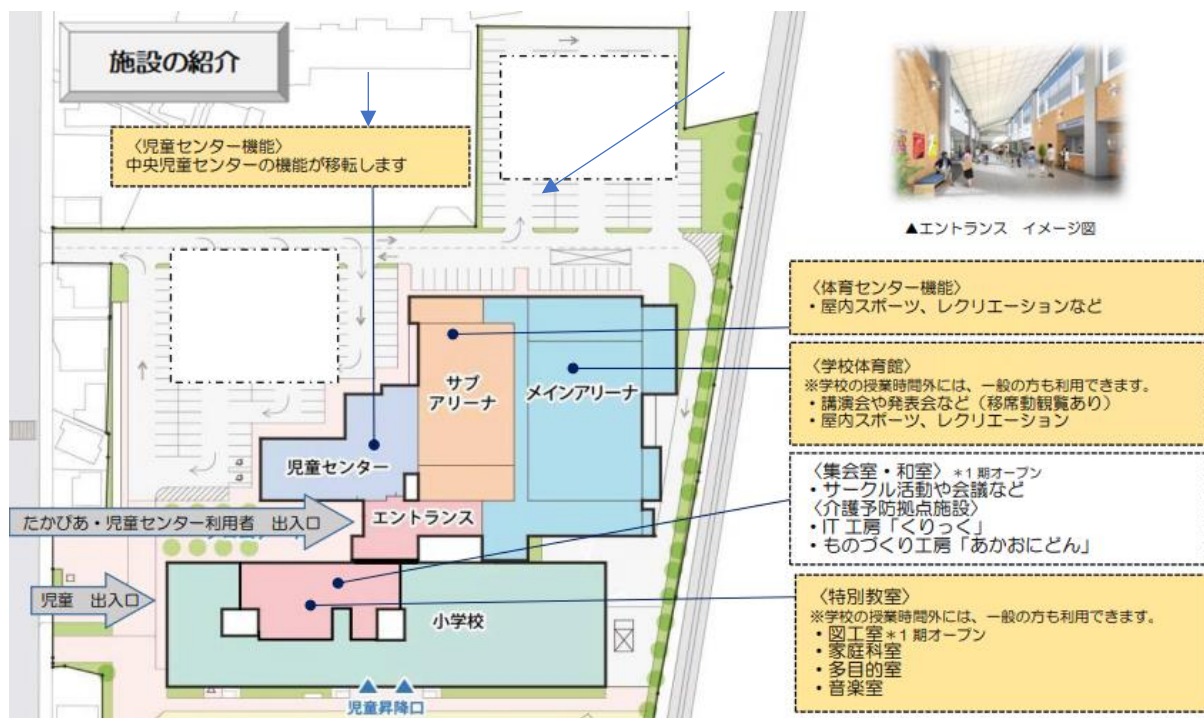
--

--

4. 地域における学校施設のあり方に関する質問

西郷村では、学校を災害発生時の避難所に指定している他、グラウンドや体育館といったスポーツ施設を放課後・休日に一般開放をしています。全国の事例では、学校の図書室、調理室、音楽室等を一般開放したり、学校建設の際に地域の公民館と併設（複合化）し、公民館の一部を学校と共用する例も増えています。

愛知県高浜市の高浜小学校では、小学校に公民館、児童クラブ、体育館といった施設を併設し、小学校の音楽室、多目的室、家庭科室、図工室を平日夜間や学校の休業日に一般開放を行い、地域の方の交流施設として活用しています。



学校複合化の事例「高浜小学校」（愛知県高浜市ホームページより）

質問 16

今後、地域と学校の連携をより強くしていくために、学校に期待する役割・機能として重要だと思うものをお答えください。（2つまで選択）

- 1 地域に開かれたスポーツ活動の拠点
- 2 地域に開かれた文化活動の拠点
- 3 地域の防災拠点
- 4 地域コミュニティの活動・交流の拠点
- 5 子どもの放課後の居場所・活動場所
- 6 その他（

）

質問 17

学校施設の充実や複合化を図り、地域の方も利用できると良いと思うものをお答えください。(4つまで選択)

- | |
|--------------|
| 1 図書館 |
| 2 調理室 |
| 3 音楽室・音楽ホール |
| 4 美術室 |
| 5 技術室 |
| 6 公民館・会議室 |
| 7 体育館 |
| 8 自主学習スペース |
| 9 パソコン室・視聴覚室 |
| 10 その他(|

)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

学校適正化事業の経過

学校適正化事業のこれまでの取り組み、これからの予定をお知らせします。

■ 2022 年度(令和 4 年度)

- 学識経験者、PTA 代表、学校運営協議会(地域代表)、学校関係者らで構成する西郷村学校適正化配置検討委員会を組織し、学校適正化の検討を加速させる。
- 第 1 回西郷村学校適正化配置検討委員会
 - ①学校適正化配置検討委員会における検討事項について」
- 第 2 回西郷村学校適正化配置検討委員会
 - ①学校適正化配置検討委員会の進め方
 - ②背景・目的の整理、小中学校の現状把握と将来予想



学校適正化配置検討委員会の様子

■ 2023 年度(令和 5 年度)

- 第 3 回西郷村学校適正化配置検討委員会
 - ①学校規模適正化の方針と必要性の検討
 - ②学校毎における現状、課題の共有
 - ③学校規模に関する検討
- 第 4 回西郷村学校適正化配置検討委員会
 - ①学校適正配置の考え方、配置案、方向性について
 - ②提言内容の検討
- 西郷村学校適正化配置検討委員会から提言書が教育委員会へ提出される
- 提言書の内容を、村長、村議会へ報告

西郷村立小・中学校における学校規模の適正化・適正配置にかかる提言書(一部抜粋)

学校の適正配置計画

① 再編時期

今後 10 年から 20 年で、できるだけ早い時期

② 統合案

(1) 小学校計3校とするのが望ましい

- 熊倉小学校と羽太小学校を統合する
- 小田倉小学校と川谷小学校を統合する
- 米小学校は存続とするが、今後再編の検討が必要である

(2) 中学校1校とするのが望ましい

- 統合し、空き校舎となる西郷第二中学校については、施設老朽及び立地条件が課題となっている小田倉小学校の新校舎として利活用を検討する

■ 2024 年度(令和 6 年度)

- 村内の各校で教職員や保護者の方を対象としたワークショップを開催(全 7 回)

①テーマ 1「西郷村の教育環境の良いところ・特徴は？」

②テーマ 2「今後の西郷村での教育に期待することは？」



■ 2025 年度(令和 7 年度)

- 保護者の方、地域の方を対象としたアンケート調査を実施(≒現在)
- 中学生を対象としたワークショップを実施予定
- 各学校区で地域の方との懇談会を実施予定
- 「望ましい教育環境のあり方に関する方針」の取りまとめを行い、公表予定

ワークショップの様子

これまでの取り組みについて、村ホームページに掲載していますのでぜひご覧ください。今回のアンケートの集計結果等、今後も情報を発信していきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

アンケートの集計結果は、9月上旬頃に掲載する予定です。



村ホームページは
こちら